

## 編集後記

先日、久しぶりに京都市内を観光してきました。相変わらず目立つのは外国人観光客の姿。著名な寺社仏閣はどこも、グループや家族のツーリストであふれていました。そんな彼らを見ると、古都の文化財は日本、いや世界の宝なのだと改めて実感します。しかし、文化財は古くて貴重なものであるゆえ、定期的なメンテナンスが必要になってきます。今月号の特集では、文化財建造物を守り継承する伝統的な匠の技とゼネコンの先端技術を取り上げました。(N)

特集の取材で訪れた奈良は、あいにくの雨続き。屋外での取材、インタビューは悩ましい行程になりました。しっかりとした古都の風情もいいものですが、そこで展開されている文化財修復のダイナミックな工事、繊細な作業にも目を奪われます。技術者の皆さんが口を揃えたのは、保存事業を通して現代の技術を後世に伝えたいということ。数百年前の匠の技と、現代の最新最強テクノロジーが出会い、未来へと受け継がれていく。その現場に居合わせることができ、胸が熱くなりました。(E)

**発行** 一般社団法人 日本建設業連合会  
〒104-0032  
東京都中央区八丁堀2-5-1  
東京建設会館  
TEL 03-3553-4095  
FAX 03-3551-4954  
URL <http://www.nikkenren.com/>

**発行者** 有賀長郎

**企画・編集** 一般社団法人 日本建設業連合会  
広報委員会

**制作** 株式会社Kプロビジョン

**デザイン** 株式会社コンセント

**印刷** 株式会社耕文社

©2017 日本建設業連合会  
「ACE建設業界」は日本建設業連合会の登録商標です

年間購読料：4,800円(送料込)

## 「日建連 生物多様性行動指針 解説と具体事例」を公表

日建連の環境委員会はこのたび、「日建連生物多様性行動指針 解説と具体事例」を公表しました。

日建連は昨年4月、会員企業における生物多様性保全活動の更なる促進を図ることを主な目的に「日建連生物多様性行動指針」を公表しました。同指針は、経団連自然保護協議会が策定した経団連生物多様性宣言の基本的な考え方を前提に、「愛知目標」の達成にも資する、建設業独自の事業形態を踏まえた生物多様性保全活動の基本的な取組み事項を5つの行動として整理したものです。

今回策定した「日建連生物多様性行動指針 解説と具体事例」は、建設業関係者一人ひとりがこの行動指針の内容を理解し、具体的な活動につなげていただくため、具体的な取組み方や事例をあげることにより、新たな取組みの参考となること、あるいは既に取り組んでいる活動の発展・深化に資するための教育資料となるように心掛けました。

本データ(52ページ)は日建連ホームページの下記URLからどなたでもダウンロードいただけます。ぜひ、環境教育資料としてご利用いただくとともに、建設業における生物多様性保全活動の更なる促進に向けてご活用ください。



URL：[http://www.nikkenren.com/publication/pdf/270/biodiversity\\_2017.pdf](http://www.nikkenren.com/publication/pdf/270/biodiversity_2017.pdf)

≪お知らせ≫